

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	自動車検査独立行政法人運営費交付金	担当部局庁	自動車局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度～ (第3期中期目標期間：H23-27年度)	担当課室	整備課	課長	江坂 行弘		
会計区分	自動車安全特別会計 (自動車検査登録勘定)	政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 17 自動車の安全性を高める				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	道路運送車両法に基づく自動車の安全・環境基準への適合性審査に必要な検査機器を整備する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	機器老朽更新等に係る審査経費を中期計画に応じた必要経費を考慮して積算して交付する。 なお、交付額は中期計画の進捗状況や保安基準の改正状況等に鑑み、毎年度の予算編成過程において決定している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	1,257	892	883	830	
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	1,257	892	883	830	
	執行額	1,257	892	883			
執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	受検者等の人身事故の削減	成果実績		—	(対22年度比) 0%減	(対22年度比) 35%増	H23～H27の平均でH22年度比10%減
		達成度	%	—	—	—	
	検査機器の故障等による閉鎖時間の削減 (22年度にあっては、対18年度の値を記載)	成果実績		(対18年度比) 15%減	(対22年度比) 19%減	(対22年度比) 30%減	平成22年度比 10%減
達成度		%			—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	確実に審査を実施できるよう審査機器の更新等が必要な箇所を適切に処置。 箇所数は、機器の老朽更新に係るものに限る。	活動実績 (当初見込み)		34	24	25	—
				()	()	()	()
単位当たりコスト	35(百万円/1箇所)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成24年度執行額:883百万円 (※執行額は機器の老朽更新等に係るものに限る。) Y:平成24年度における箇所数:25箇所			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	自動車検査独立行政法人運営費交付金	830					
	計	830					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	自動車の基準適合性審査は、自動車の安全確保及び環境保全を図るため、道路運送車両法に基づき実施しており、業務遂行上、必要不可欠な検査機器の整備に国費を投入する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	検査法人が実施する基準適合性審査は、全国を移動する自動車に対し、全国一律レベルで実施する必要があり、国の施策として確実に実施することが必要である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	自動車の基準適合性審査は、自動車の安全確保及び環境保全を図るため、道路運送車両法に基づき実施している。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	検査法人は、道路運送車両法に基づき自動車の検査を実施する唯一の機関である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	自動車安全特別会計(自動車検査登録勘定)は、受益者である自動車ユーザーからの検査手数料を財源としている。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	今中期計画期間は、前中期計画期間と比較して年平均約35%予算を縮減している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	使途は、検査業務に必要な不可欠な施設等の整備に限られている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	検査法人は、自動車の検査を実施する唯一の機関であり他の手段はないが、予算の縮減に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見合ったものとなっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された施設等は検査の実施に必要な不可欠なものである。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	該当なし		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・自動車検査独立行政法人は、地方検査部等からの整備要望の集約を行い、必要性・優先度の精査を厳しく行っただうで、限られた予算の範囲内で地方検査部等に対して実施箇所の決定を行っている。</p> <p>・地方検査部等は実施箇所の決定を受け、限られた予算の範囲で効率的且つ効果的な執行を行っている。</p> <p>・自動車検査独立行政法人においては、収入支出管理を厳正に行っており、支出先及び使途の把握は確実になされている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	327	平成23年	0305	平成24年	0313

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
883百万円

〔自動車検査独立行政法人の
運営費の総合調整〕



【 交 付 】

A.自動車検査(独)
883百万円

〔検査機器の更新等〕



B.民間事業者(4社)
883百万円

〔検査機器の製造、据付〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.自動車検査独立行政法人

E.

費目

使 途

金 額
(百万円)

費目

使 途

金 額
(百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

その他	検査機器の更新等	883			
計		883	計		
B.(株)バンザイ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	自動車検査用機械器具の製造及び据付	437			
計		437	計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	自動車検査独立行政法人	検査機器等の更新	883	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数 ^{※1}	落札率 ^{※2}
1	(株)バンザイ	自動車検査用機械器具の製造及び据付	437	4	-
2	安全自動車(株)	自動車検査用機械器具の製造及び据付	273	4	-
3	(株)イヤサカ	自動車検査用機械器具の製造及び据付	124	4	-
4	(株)アルティア	自動車検査用機械器具の製造及び据付	49	3	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※1 入札者数について、支出先に係る契約が複数の場合は[-]とする。

※2 落札率については、公表することにより他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため、[-]とする。